



TITLE:

和歌山県白浜町産ヤクシマダカラ (腹足綱: タカラガイ科)の最大と最 小の成員

AUTHOR(S):

久保田, 信

CITATION:

久保田, 信. 和歌山県白浜町産ヤクシマダカラ(腹足綱: タカラガイ科)の
最大と最小の成員. Molluscan Diversity 2012, 3(2): 97-98

ISSUE DATE:

2012-02

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186183>

RIGHT:

© 軟体動物多様性学会

和歌山県白浜町産ヤクシマダカラ（腹足綱：タカラガイ科）の最大と最小の成員

The largest and the smallest adult shell of *Cypraea (Maurita) arabica arabica* (Schilder & Schilder, 1939) (Gastropoda, Cypraeidae) from Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan

久保田 信

〒 649-2211 西牟婁郡白浜町 459 京都大学フィールド科学教育研究センター 瀬戸臨海実験所 E-mail: kubota.shin.5e@kyoto-u.ac.jp

Shin KUBOTA

Seto Marine Biological Laboratory, Field Science Education and Research Center, Kyoto University, Shirahama 459, Nishimuro, Wakayama 649-2211, Japan. E-mail: kubota.shin.5e@kyoto-u.ac.jp

要約 1998 年から 2012 年までの 14 年間にわたり和歌山県西牟婁郡白浜町番所崎と京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所“北浜”の打ち上げ物から採取した最大と最小のヤクシマダカラ（殻長 29–70 mm）を記録する。また、和歌山県白浜町瀬戸漁港で最近発見した白浜町最大の貝殻（殻長 75 mm）も記録する。この内の最小個体は日本産の本種の最小記録となった。

キーワード：タカラガイ、個体変異、日本最小、サイズ、紀伊半島、ヤドカリ

久保田 信 2012. 和歌山県白浜町産ヤクシマダカラ（腹足綱：タカラガイ科）の最大と最小の成員. *Molluscan Diversity*, 3(2): 97–98.

Abstract The largest and the smallest adult shell of *Cypraea (Maurita) arabica arabica* (Schilder & Schilder, 1939) (shell length, 29–75 mm) (Gastropoda, Cypraeidae), that were collected from Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan found between 1998 and 2012, are described and photographed. One of these specimens is reported here as the smallest shell in Japan.

Keywords: individual variation, size, smallest record in Japan, cowry, Kii Peninsula, hermit crab

Kubota, S. 2012. The largest and the smallest adult shell of *Cypraea (Maurita) arabica arabica* (Schilder & Schilder, 1939) (Gastropoda, Cypraeidae) from Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan. *Molluscan Diversity*, 3(2): 97–98.

Cypraea (Maurita) arabica arabica (Schilder & Schilder, 1939) ヤクシマダカラは南方系の巻貝で、本州の房総半島（八丈島にも分布）以南からインド・西太平洋にかけての潮間帯から水深 20 m の岩礁やサンゴ礁に生息する（堀，2000；池田・淤見，2007）。成貝の大きさはすこぶる変異が大きく、我が国では殻長の幅は 29.1–86.3 mm と記録されている（池田・淤見，2007）。

1998 年から 2012 年までの 14 年間にわたり、和歌山県西牟婁郡白浜町に所在する番所崎とそこに接続する京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所“北浜”に打ち上がった多数のヤクシマダカラ（久保田・小山，2002a, b；久保田・岸田，2005）成貝の最大と最小の個体を記録するとともに、同じく白浜町の瀬戸漁港で発見した上記よりさらに大型の本種の貝殻を記録する。

検討個体と考察

最小と大型個体の殻長：29 mm, 70 mm（2005 年 6 月下旬，和歌山県西牟婁郡白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所“北浜”[33° 41' N, 135° 20' E]と 2001 年 6 月 27 日に和歌山県西牟婁郡白浜町番所崎 [33° 41' N,

135° 20' E] で打上物として海岸で採取：Fig. 1, 左端，中央）。最大個体（殻長 75 mm）は 2011 年 12 月 1 日，和歌山県西牟婁郡白浜町瀬戸漁港 [33° 41' N, 135° 20' E] の水深数 m の海底に廃棄されていたもので，*Dardanus scutellatus* (H. Milne Edwards, 1848) ヒラテヤドカリ入りで、貝殻の腹面には 1 個体の *Balanus trigonus* Darwin, 1854



Figure 1. 和歌山県白浜町産ヤクシマダカラの大型および最小・最大の成員。中央と右端：打上採集；左端：瀬戸漁港に廃棄。

A large and the smallest adult shells of *Cypraea (Maurita) arabica arabica* stranded at a coast of Shirahama (middle and right) and the largest dead shell (left) found at Seto fishing harbor, Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan. For measurements, see text.

98 久保田信

サンカクフジツボやゴカイ類の多数の棲管が付着 (Fig.1, 右端)。これら3個体の成貝 (殻は重厚で殻口は閉じてスリット状) の殻表面の光沢は全くなく, 多少磨り減って特有の模様もほとんど消えており, 特に漁港で採取した最大個体は付着生物の存在から, いずれも死亡後時間が長く経過していると推察される。

本種の日本産の殻長の幅は 29.1–86.3 mm と記録されているので (池田・淤見, 2007), これらの内の最小個体は日本産最小個体となる。なお, 本種の最小と最大個体の世界記録は殻長 24.6–104.7 mm であり (池田・淤見, 2007), 日本産のものより最小個体は少し小さく, 最大個体はさらにかなり大きいものとなる。

謝辞

ヤドカリを同定して下さった朝倉 彰博士 (京都大学瀬戸臨海実験所) に深謝する。

引用文献

- 堀 成夫 2000. タカラガイ科. *In* 奥谷喬司 (編) *日本近海産貝類図鑑*, 224–239. 東海大学出版会, 東京.
- 池田 等・淤見慶宏 2007. *タカラガイ・ブック*. 東京書籍, 東京.
- 久保田 信・岸田拓士 2005. 和歌山県西牟婁郡白浜町臨海 “北浜” におけるヤクシマダカラ (タカラガイ科) の成貝貝殻の打ち上げ数の季節変化. *漂着物学会誌*, **3**: 48–49.
- 久保田 信・小山安生 2002a. 番所崎, 特に “北浜” (和歌山県白浜町) へ打ち上げられた軟体動物貝殻目録 (1). *南紀生物*, **44**: 69–76.
- 久保田 信・小山安生 2002b. 番所崎, 特に “北浜” (和歌山県白浜町) へ打ち上げられた軟体動物貝殻目録 (2). *南紀生物*, **44**: 133–139.